

# 田尻だより

平成 17 年

12月号

Vol. 33

次回の田尻便りは  
1月発行予定!

冷たい木枯らしが吹き、いよいよ本格的な冬がやって来ました。蕪栗沼の雁の数も日に増え、夕暮れ時にはとても大きな雁行隊列をなして沼へ帰ってゆきます。

〔ラムサール条約〕  
11月8日、蕪栗沼と周辺水田がラムサール条約湿地に登録されました。農地と湿地帯が一体となって登録されたのは、全国でも初めてのことです。

に破壊されてしまう重要な湿地の国際的な保全と賢明な利用のため、1971年に制定されました。特に蕪栗沼と周辺水田の登録は、「観光利用」ではなく農業の機能によつて生物環境を守るという点が注目されています。人が一方的に環境を守るのではなく、人と野生生物とが同じ場所で、共に上手に生きる形。そんな私達の活動が認められたこと、何よりの喜びです。

いつものことながら、よくこれだけの雁が集まるものだなあと感心してしまします。

湿地は多種多様な生物が集まるだけでなく、渡り鳥にとつて重要な休息地です。地球規模で移動する渡り鳥を保護するには、国家間の協力が不可欠です。ラムサール条約は、容易

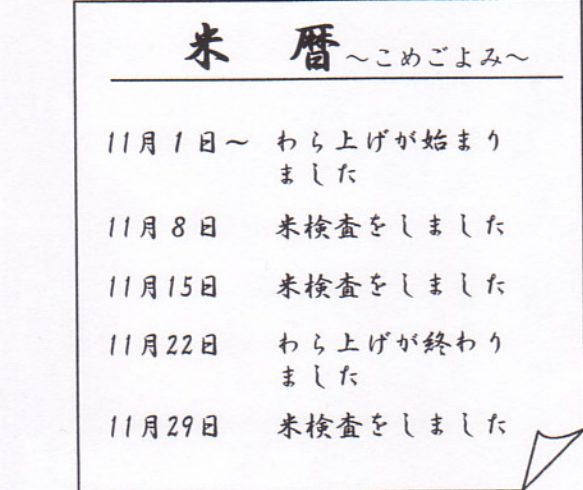
は、何よりの喜びです。保育所から帰ってくる時間は、ちょうど雁が沼へ帰る時間。冬の夕暮れの風物詩です。

米 曆 ~こめごよみ~	
11月1日~	わら上げが始まりました
11月8日	米検査をしました
11月15日	米検査をしました
11月22日	わら上げが終わりました
11月29日	米検査をしました

### 嫁日記

先日、北海道へ行く機会があったので、帰り道に苫小牧のウトナイ湖へ寄りました。ウトナイ湖は1991年、日本で4番目にラムサール条約に登録された湿地です。  
\*\*\*  
蕪栗沼の何倍もの大きさをもつウトナイ湖は、清流、原野、湿地からなる豊かな

自然環境をもち、野生生物の宝庫、渡り鳥の中継地として保護されてきました。  
\*\*\*  
その広大な自然を見て、私は「それでも雁たちは越冬できないのか」と驚きました。それほどまでに、雁たちは生活の大部分を田んぼに依存しているのか、と。…今、蕪栗沼は今年一番の雁の飛来を迎えています。



絵と文 / 小野寺ひかる